

令和6年度 札幌医科大学SD活動実施計画

1 基本方針

本学は、1950年の開学以来、「人間性豊かな医療人の育成に努めること」、「道民の皆様に対する医療サービスの向上に邁進すること」、「国際的・先端的な研究を進めること」の3つの基本理念のもと、教育・研究・診療の充実と、地域医療への貢献に努めています。

しかしながら、本学を取り巻く社会環境が絶えず変化し、業務が複雑化・多様化する中、継続して社会的使命を果たしていくためには、全職員が本学の理念や行動規範を理解し、協働して職務を行うことで、大学運営の一層の高度化を図る必要があります。

これを踏まえ、本学では、『職員の協働による適切かつ効果的な大学運営に必要な知識と技能の修得』のため、そして、『多職種が連携協力した大学運営を牽引する事務職員の育成』のために、次のとおりSD（スタッフ・ディベロップメント）活動を実施し、職員全体の資質・能力の向上に取り組みます。

本学の理念と行動規範

《理念》 最高レベルの医科大学を目指します

- ・ 人間性豊かな医療人の育成に努めます。
- ・ 道民の皆様に対する医療サービスの向上に邁進します。
- ・ 国際的・先端的な研究を進めます。

《行動規範》

1. 医学と保健医療学を通じて、北海道そして広く日本社会さらに世界に貢献します。
2. 最高の研究・教育・診療レベルを目指します。
3. 法令を遵守し、生命倫理・研究倫理・社会倫理を尊重します。
4. 地域と社会に対して必要な情報を公開します。
5. 人権・人格・個性を尊重し、差別・ハラスメントの無い環境を目指します。
6. 生命倫理・社会倫理を脅かす反社会的行為に対し毅然として対応します。
7. 地域・地球環境を守り、環境の保全・改善のために行動します。

2 実施方針

〔1〕SDの対象

札幌医科大学の運営を担う全ての職員が対象です。

職員には、事務職員をはじめ、役員、教員、看護職員、医療職員、技術職員等を含みます。

〔2〕実施形態

① 大学主催研修

大学の運営にあたり必要とされる知識や技能の修得のため、特定のテーマを設け研修を実施し、職員の資質・能力の向上を図ります。

② 派遣研修

職員の資質・能力の向上に資する機会、そして、他大学や他医療機関の職員との交流を通じた視野・見識の拡大の場として、本学以外の機関が主催する研修会等に職員を派遣します。

③ 自己啓発支援

大学の運営に資する自己啓発意識を高め、自発的な能力開発を推奨するため、通信教育や自主勉強会等の自己啓発活動に係る費用を一部助成します。

3 令和6年度の実施内容（予定）

1. 大学運営教職員研修

【目的】職員が協働し、適正かつ効果的な大学運営に取り組むために必要な知識・技能を修得

◆ 新規採用法人職員研修			
研修目的	法人職員としての自覚と責任を確立するとともに、職務に必要な基礎知識及び態度・技能を修得し、職場に適應する能力の育成を図る。		
開催回数	1回（4月）	実施形態	大学主催研修
対象者	新規採用職員（事務職・医療職）		
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・法人・大学・病院の概要、服務規程、事務処理の仕方など ・職場での対応・マナー研修 		

※北海道から派遣される事務職員向け：本学での勤務が初めての派遣職員を対象に、別途、研修を行う。

◆ コンプライアンス研修			
研修目的	職員一人一人の倫理意識の醸成、法令遵守への意識向上を図り、大学運営におけるコンプライアンスを徹底する。		
開催回数	1回（時期は別途決定）	実施形態	大学主催研修
対象者	全職員（職位指定の場合あり）		
主な内容	毎年本学を取り巻く状況等に応じたテーマを設定（別途決定） （過去のテーマ） <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントの基本知識と防止対策等を学ぶ 		

◆ リスクマネジメント研修			
研修目的	本学を取り巻くあらゆるリスク（危機）に対し、職員への意識付けによる危機管理意識の向上を図り、予防策や対処方法について学ぶことで、組織的にリスクを管理する。		
開催回数	1回（時期は別途決定）	実施形態	大学主催研修
対象者	全職員（職位指定の場合あり）		
主な内容	毎年本学を取り巻く状況等に応じたテーマを設定（別途決定） （過去のテーマ） <ul style="list-style-type: none"> ・災害から危機管理を学ぶ ・法人におけるリスク管理～自衛隊と危機管理～ ・災害発生時の対応等 ・北海道における地震被害と日頃の備えについて 		

◆ 病院運営・経営セミナー

研修目的	医療業界や医療制度の動向を知るとともに、大学及び附属病院に求められる役割や取り組むべき課題等を再認識し、それらに対応するために必要な知識や能力の向上を図る。		
開催回数	1回（時期は別途決定）	実施形態	大学主催研修
対象者	全職員（職位指定の場合あり）		
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・医療を取り巻く状況・課題 ・医師の地域偏在の問題 ・医師の働き方改革 ・医科大学・大学病院に求められる役割 等 		

◆ 「地域医療マネジメントセミナー」（小樽商科大学）受講料の一部助成

研修目的	職員の自己啓発意識を高めるとともに、地域医療への貢献を担う職員の資質や能力の向上を図る。また、他機関の医療関係者との交流を通じて視野や見聞を広げる機会とする。		
開催回数	1講座（4ヶ月・全8回） ※10月開講予定	実施形態	自己啓発支援
対象者	希望者から2～3名を選定		
主な内容	（昨年度の内容） 最前線に立つ実業家と複数の大学教員によるオムニバス形式の講座 <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療のマネジメント ・地域医療の課題と今後の戦略的ビジョン 等 		

◆ 職場研修

研修目的	職務に係る倫理の保持、子育てをサポートできる職場環境の醸成及び適切な情報セキュリティの確保を図るため、各所属内で所属長を講師とした研修を実施することで、必要な知識等を周知徹底する。		
開催回数	1回（時期は別途決定）	実施形態	大学主催研修
対象者	全職員		
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理研修 ・子育てサポート研修 ・情報セキュリティ研修 		

◆ 大学運営特別セミナー

研修目的	大学を取り巻く社会環境の変化に対応していくために、社会環境の変化に合わせたテーマを選定し、大学運営の知見を深める。		
開催回数	1回（時期は別途決定）	実施形態	大学主催研修
対象者	全職員（職位指定の場合あり）		
主な内容	～社会環境の変化に合わせたテーマを適宜選定～ <ul style="list-style-type: none"> ・内部質保証（FDと共催） 		

II. 法人採用事務職員等の能力開発研修

【目的】多職種が連携協力した大学運営を牽引する事務職員を育成

◆ 階層別研修（初任層／中堅／主任／係長・主査）			
研修目的	職責に応じた役割を理解するとともに、必要とされる知識や技能を習得する。		
開催回数	階層別に各1回	実施形態	集合研修
対象者と 主な内容	【初任層職員研修】 対象者：採用3年目までの法人採用一般職員 内 容：求められる心構えを認識、基本的事務スキルの修得 等		
	【中堅職員研修】 対象者：初任層を除く30歳以下の一般職員 内 容：求められる心構えを認識、成長過程で必要な知識の修得 等		
	【主任研修】 対象者：主任 内 容：組織を支える職員としてキャリアアップに必要な知識・技能の修得等		
	【係長・主査研修】 対象者：係長・主査 内 容：リーダーとして必要とされる主体性・生産性や、部下・後輩職員の管理・監督に関する知識・技能の修得 等		

◆ 新任主任・新任主査級研修（北海道）への派遣			
研修目的	北海道が主催する階層別新任研修に法人採用職員を参加させることで、北海道から本学に派遣されている職員と同様の知識や技能を修得させるとともに、他の職場で働く職員との交流により、大学職員としての視野を広げる機会とする。		
開催回数	階層別に各1回 (4～7月頃)	実施形態	派遣研修
対象者と 主な内容	【新任主任研修】 対象者：新任主任 (既卒採用者については前歴等を考慮し選定する場合あり) 内 容：業務改善・管理の方法、モチベーションの持ち方、問題解決の進め方、公務員倫理、メンタルヘルス、行動デザイン・ナッジ理論等		
	【新任係長級研修】 対象者：新任係長・主査 内 容：管理監督職に求められるリーダーシップ、業務管理、問題解決と業務改善、コミュニケーションの促進、WLB、公務員倫理、メンタルヘルス等		
	【新任副課長級研修】 対象者：新任副課長級 内 容：組織マネジメントと管理職の役割、職場においての人材育成、組織の活力を引き出すリーダーシップ、メンタルヘルス、報道対応等		
	【新任課長級研修】 マネジメント、リーダーシップ、部下育成、WLB、公務員倫理、メンタルヘルス等		

◆ 公立大学協会主催の研修参加			
研修目的	高等教育の全体像や、公立大学職員として求められる資質・態度とは何かを学ぶと同時に、他大学の職員との事例交換等を通じて、大学職員としての基礎的な能力向上を図る。		
開催回数	派遣研修：1回 オンライン研修：通年	実施形態	派遣研修、オンライン研修
対象者	派遣研修：指定職員（採用3年目職員から数名を基本とする） オンライン研修：全職員		
主な内容	(過去のプログラム) ・文科省、大学関係者等による講演 ・公立大学の存在意義や職員の役割を考えるワークショップ ・職員の学び方法論に関するワークショップ		

◆ 専門研修			
研修目的	大学職員として必要な基本的な知識を身に着けるとともに、具体的な業務に関する実務研修やe-learningによる受講を通じて、職員個々のスキルアップを図る。		
開催回数	対象者各1回	実施形態	オンライン研修
対象者	必須受講：指定職員（管理職、採用5年目及び10年目職員） 自由受講：全法人事務職員 ※派遣職員も場合により受講可能		
主な内容	(主なメニュー) 【管理職向け】 <ul style="list-style-type: none"> ・OJTスキルを向上する ・将来予測力を高める ・内部統制、監査力を高める ・ハラスメント防止運営力を身につける 等 【管理職以外】 <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集力を向上する ・経営分析力をアップする ・会議設営、運営方法を会得する ・訴訟対応の基礎を学ぶ ・企画実現行動力を身に着ける 等 		

◆ 財務会計事務研修			
研修目的	法人会計の基礎から財務諸表作成までの流れや、実践的な事務処理方法の解説を通じ、医大職員に必要な財務会計事務の知識・能力を身につける。		
開催回数	1回（時期は別途決定）	実施形態	大学主催研修
対象者	係長・主査級、一般職員（非常勤を含む。）		
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の基本知識 ・会計処理実務を行う上での留意点 ・旅費の実務 ・契約事務の基礎知識 等 		

◆ 大学広報研修

研修目的	学内教職員の広報意識醸成及び広報活動を推進することで、大学全体の情報発信力を高める。		
開催回数	1回（時期は別途決定）	実施形態	大学主催研修
対象者	係長・主査級、一般職員等		
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大学広報の必要性 ・広報活動のポイント ・広報に係るコンプライアンス ～ 著作権とは <li style="padding-left: 20px;">WEBコンテンツの取扱 <li style="padding-left: 20px;">映像・写真・音楽コンテンツの取扱 ほか 		

◆ 通信教育受講料の一部助成

支援内容	業務に係る通信教育受講料の1/2を助成（上限額：24,000円）		
申込方法及び時期	別途通知	実施形態	自己啓発支援
対象者	管理職、係長・主査級、一般職員の希望者から3名程度		
通信教育の講座一例	<ul style="list-style-type: none"> ・日商簿記検定受験講座（1級～3級） ・ビジネス英語講座 ・Word・Excel2016技あり ・仕事に活かせる統計基礎コース ・情報セキュリティマネジメント試験対策 		

◆ 自主研究活動経費の一部助成

支援内容	本学に関する諸課題について、自主的な研究活動を実施するグループに対して、書籍代や講師料等の運営費を助成		
申込方法及び時期	別途通知	実施形態	自己啓発支援
対象者	管理職、係長・主査級、一般職員の希望者（1グループ程度）		
自主研究組織の一例	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善協議会 私立大学や民間病院等における経営改善の先進的取組を調査し、民間の柔軟な発想力により行われている事業について、本学での実施の可能性を研究する。 ・包括連携協定推進研究会 産学の連携を通じて相互の発展に寄与するとともに、北海道の保健医療福祉の向上など、地域社会の発展に資することを目的に実施している包括連携協定について、様々な分野との協定を想定し検討を進め、民間活力を活かした大学運営を研究する 		